

中村ただしの「市政プラン」で皆様の生活がますます便利に！

私は4年前、市議会選挙の選挙公約として「幸せ市政プラン」を掲げて当選しました。公約の実現期間は10年と謳いましたので、間もなく5分の2が過ぎようとしている計算になります。そこで今回は、「幸せ市政プラン」のうち、「情報通信都市しらおか」について中間検証を加えたいと思います。

「情報通信都市しらおか」の内容は、次の通りです。

- ◆ ◆ ◆ ◆

「△み分別アプリを進化させた総合アプリを開発し、市のサービスや最新情報・緊急情報にスマホで簡単にアクセスできる仕組みを提案します。

このうち、住民票のコンビニ発行です。この発行の公約が実現したことは1面で報じた通りです。ここでは、その他の公約についての中間報告を行います。

また、近隣自治体でも急速に普及している戸籍謄本や住民票のコンビニ発行の導入も強力に推進し、市民の皆様の利便性を高めます。生涯学習施設の本をスマホで予約してコンビニで受け取れる制度も提案していきます。

市政の随所に情報通信技術を積極的に取り入れていくことで、若者の市政・地域参加を促進します。

- ◆ ◆ ◆

①市政総合アプリについて
【令和2年3月議会 一般質問要旨】
中村 まずは、白岡蓮田環境事業協同組合の△み分別アプリの開発経緯と権利関係について伺う。

部長 平成28年10月から同協同組合の負担により本格導入したものであり、権利は同協同組合が保有している。蓮田白岡衛生組合は、このアプリを賃貸借契約により活用している。

中村 市は何らの権利も保有していないとのことであり、△み分別アプリを市政総合アプリへと拡張する方法は難しそうだ。むしろ新規にアプリを開発すべきではないか。ここで「市政総合アプリ」とは、災害・選挙・納税・教育・医療・農政・産業振興・参画と協働・電子申請・例規・史料等の市政全般にわたる情報を網羅的かつ双方向的に配信・入手・交換できるアプリを想定している。とりわけ電子申請については、アプリで手軽に行えるようになると便利だ。

ホーミページのスマート対応に97万4千円を計上している。市公式ホームページでは30件の手続きについて電子申請が可能である。今後は市公式ツイッターの運用見直しを図る。

中村 確かにツイッターアプリには通知機能があるため、市のスマート版ホームページと連携させることがで、アプリを導入したのとほぼ同様の効果を得ることができる。期待して注視していただきたい。

- ◆ ◆ ◆

この質疑応答をふまえて導入されたスマート版ホームページは、ボタン操作を基調とした「アプリ調」のデザインとなりました。

さらに、今年1月31日からは市公式ホームページのデザインが一新され、ますます「アプリ」に近づくことになります。

③コンビニ・図書受取サービスについて
【令和4年9月議会 一般質問要旨】
中村 憲法25条はすべての国民に健康で文化的な最低限度の生活の権利を保障しており、文化面でのナショナルミニマムとして「図書館のユニアーサルサービス」が必要だ。要覧によれば、勤労者体育センター・コミュニティセンター・中央公民館に返却ボストを設置していただいているようだが、大山地区では返却できない等の地域的な不均衡があるし、そもそも図書の受取ができない。寝

屋川市では郵便局で、所沢市等ではコンビニで図

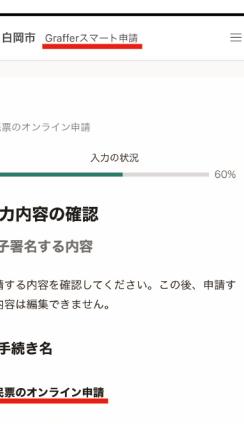
部長 新規のアプリ開発は導入に1千万円程度を要するため難しいが、今回の補正予算では市公式



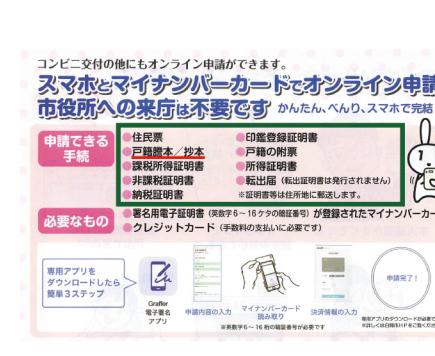
「アプリ化」された市公式HP
(令和5年1月30日まで)



さらなる「アプリ化」へ
(広報しらおか1月号表紙)



アプリを通じた電子申請
(住民票オンライン申請)



アプリ電子申請は戸籍謄本へ拡大
(市の広報ビラ 令和5年1月)

②戸籍謄本のコンビニ発行について
戸籍謄本については、現状コンビニ発行の対象ではありませんので、導入に向けて引き続き粘り強く取り組んでまいります。前述のアプリ電子申請サービスは、当初こそ住民票のみが対象となつておりましたが、昨年拡充されて、現在では戸籍謄本も対象となっています。このような経緯に鑑みると、コンビニ発行サービスについても早晚戸籍謄本への拡大が図られるものと思われます。

また、近隣自治体でも急速に普及している戸籍謄本や住民票のコンビニ発行の導入も強力に推進し、市民の皆様の利便性を高めます。生涯学習施設の本をスマートで予約してコンビニで受け取れる制度も提案していきます。

市政の随所に情報通信技術を積極的に取り入れていくことで、若者の市政・地域参加を促進します。

◆ ◆ ◆